

上手に・安全にネットを使う力を子どもたちに

自分では問題ないと思っていても
様々なトラブルに巻き込まれることがあります。



闇バイト



自画撮り被害

学校での学習や家庭での
生活においてネットは
必要不可欠となりました。



不適切動画の投稿



誹謗中傷



ネット依存

子どもたち一人一人が、ネット社会の一員として、
「自律した使用者」となることができるように支援していくことが大切です！



ネットとの出会い



情報モラルの理解



自分で判断し、
適切に活用

他律から自律へ

使用や管理を子ども任せにせず、
発達段階に応じて保護者などの大人が関わっていくことが必要です。



ネットの使用について、親子で対話しましょう

1 親子で一緒に ネット体験

親子で一緒にネットを利用してみて、子どもがどんなことに興味をもっているのかを把握しましょう。

頭ごなしに「すべてダメ」ではなく、内容を理解したうえで、親の思いを伝えましょう。



2 ネットのよさと利用に潜む リスクを一緒に考える

ネットを活用することのよさとともに、そこに潜むリスクについて、一緒に考えてみましょう。子どもが、ネットをどのように使い、どんなことに気をつけるとよいのかを考えるきっかけづくりをしましょう。



安全に、責任をもって、互いを尊重する使い方を！

3 「我が家のルール」について、親子一緒に 考えましょう。

【ルールづくりのポイント】

- ・利用を始める前にルールをつくる。
- ・大人の意見を伝えるとともに、子どもの意見にも耳を傾け、みんなが納得するルールとする。
- ・ルールの内容として、使用時間・使用場所・課金サイト利用時の約束を決め、目につく場所に貼っておく。
- ・ルールをつくったら、どれだけ守ることができているかをチェックする。
- ・発達段階に応じて、ルールを見直していく。
- ・大人も手本となる使い方をする。

【ルールづくりの際に、親が子どもに伝えたいメッセージ】

- ・ルールは自分を守るためにつくるもの。
- ・日常生活でダメなことは、ネットの世界でも絶対ダメ。
例) 人を傷つけること(誹謗中傷・ネットいじめ・デマを流す など)。
- ・行動を起こす前に、ちょっと立ち止まって考え、判断する。
例) それをすると、困ったことがおこらないか、困る人がいないか想像する。
- ・「困ったら相談してね」など、いつでも相談してよいことを日常的に伝える。

